



「もし、もし」から学ぶ

大雨警報発令中の7月3

日(月)の下校については、保護者の皆様に適切に対応いただきありがとうございます。

今回は、「集団下校」としました。予想される事態に対する安全確保のために、高学年の班長のもとに一斉下校するものです。今回のような状況や校区内での注意すべき事故等の発生、火山活動の活発化など、予想される危険を避ける際に採用することとしております。

一方、先日訓練として行いました「引き渡し」は、子どもだけでの下校が危険な状況にあるときに採用します。児童数の多い本校では、子ども達の整然とした行動と、保護者の皆様の適切な対応がなければかえって混乱を招きます。今後とも情報を確認の上、ご理解とご協力をお願いいたします。

私の教職経験で小学校一年生を担任したのは一度きり。大変ではありましたが、ほかの学年にはない楽しさがあり、笑いながら絶えない一年間でした。段ボールで便器をつくり、教室でトイレの使い方を教えたことなどを思い出します。ふと、「これって今はもう指導していないかも...」と思ったことがあります。それは「電話のかけ方、受け方」です。

電話会社に依頼すると、通話できる電話の機器を持ってきて指導してくれました。電話に出るときは『はい、〇〇です』と先に言うんだよ。』というのがマナーでした。今は「子どもに電話を取らせるのは危険」との考え方もあり、時代の変化を感じます。

近年、国内の固定電話の普及率は世帯全体の7割を切り、20代世帯では10%に満たないというデータもあります。私(小林市ではありませぬが)初めて市役所に勤務したとき、最初に先輩から教わったのが電話対応でした。具体的には「先輩たちの様子を見て、えっ!こんなもんなの?。」と驚いたのです。まず、その課あての電話番号に電話がかかると、そのフロアの電話が一斉に鳴り出す。これは、一般の市民の方から電話である可能性が高いのです。市役所内なら内線、関係者なら特定の席の電話番号を記憶してください。

会話の始めは「はい、(所属)(役職・名前)でございます。」とまず名乗る。朝であれば「はい」の代わりに「おはようございます。」2コール超えたら「お待たせしました。」を付ける。そうやって取次ぎを繰り返すうちに、電話の相手を持たせない対応を身に付けていくのです。

自分が担当の問い合わせに關しては、正確に答えるために必死で調べます。それが、自分の仕事に詳しくなるきっかけでした。問い合わせが多いものに分かりにくさがあったことを反省します。

今は、個人がいつでも電話を掛けられる環境にあります。便利になったからこそ、身に付けるべきマナーがあると考えます。発信する前に、見えない相手は何をしているかと考え、気遣い、思いやることは時代が変わっても大切です。まずは、名乗ることから。

「人権学習」へのご協力を 7月6日(木)の参観日には「西諸人権の日の取組」に合わせて、すべての学級で人権学習を行いました。この取組は、学校での学びを家庭にまで広げ、一緒に考えていただくことを目的としております。授業の感想で結構ですので、担任まで声をお届けください。

中国(上海)から体験学習生がきています！

見越 錬(レン)さん



お母様(見越真理子様)の里帰りに合わせて

7月5日(水)から夏休みまで 5年2組で体験学習をしています。

錬(レン)さんは、日本語も上手でさっそくみんなと仲良く過ごしています。

サッカーや水泳も習っているそうです。

得意なのは、「中国武術」。剣を使った演武が得意だそうです。

小林小学校のみんなも これを機会に中国について関心をもったり

国際感覚を広げたりしてほしいと思います。

万が一、夏休み中に子どもの事故、大きなけが等ありましたら、学校にもご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、学校閉庁期間中(8月10日(木)～16日(水))につきましては、小林市教育委員会学校教育課(23-0424)までお願いいたします。

学校から緊急に連絡が必要な場合は、「学校安心メール」を使用しますので、ご留意ください。

みんなで見守り、注意し合って交通事故、水の事故等から子どもの命を守りましょう。

「みんなで考え みんなでつくる みんなの小林小学校！」